

平成25年度第2回(一社)栃木県建設業協会と関東地方整備局7事務所合同 の意見交換会〈議事要旨〉(要約版)

平成26年1月15日(水)、栃木県建設産業会館会議室において、(一社)栃木県建設業協会と関東地方整備局7事務所合同の意見交換会を開催しました。

(一社)栃木県建設業協会からは、会長、副会長をはじめ幹部の方々が、関東地方整備局からは、栃木県内の河川、道路、ダム、砂防、営繕の各事業を担当する7事務所の事務所長、副所長、担当課長等が出席しました。(出席者名簿は別紙参照)

意見交換会に先立ち、協会側、事務所側から以下の挨拶がありました。

【挨拶】

○利根川上流河川事務所 須見所長の挨拶

- ・今年のアベノミクスの成果が問われる年。消費税を上げることと併せて景気がどれだけ持ち直していくかが今後の行政に大きく関係してくる。
- ・我々が仕事をすることによって、社会の経済の好循環に繋がるようにしなければ、ようやく上向きかけた社会資本整備の予算が確保出来ない恐れも出てくる。
- ・発注機関の最前線にある事務所と建設業界との意見交換は、非常に意義がある。

○(一社)栃木県建設業協会 渡邊会長の挨拶

- ・1月24日に招集される通常国会では、防災、減災や老朽化対策等を含んだ5兆5000億円の平成25年度補正予算案が審議されることとなっているが、経済対策に加えて、国民の安全安心に大きく寄与できる。
- ・本日の意見交換会では、労務費及び資材価格の現状について議題を提案した。市場単価を入札価格に反映させて頂きたい。



国土交通省 利根川上流河川事務所
須見所長の挨拶



(一社)栃木県建設業協会
渡邊会長の挨拶

【 意見交換 】

(1) 契約手続き等の最近の状況について

- ・全体スライドの適用について
- ・消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う直轄工事等の取扱いについて
- ・最近の契約状況について

(2) 労務費及び資材価格の現状について

(3) その他

- ・営繕工事書類の簡素化（試行）について

○協会側からの発言

- ・昨年の夏過ぎ頃から現場でダンプ類が不足していると声が上がっている。
- ・機材の不足は、景気悪化に伴う自社の機材の縮小を図った結果。最近ではリースで対応。発注方式の制度に問題があるのでは。

○事務所側からの発言

- ・南側では道路事業などもあることから、河川のみならず全体的に機材が不足している状況。
- ・自社機械を所有している企業を優位に評価する方向性で検討していると聞いており、課題であると認識している。

平成25年度 第2回(一社)栃木県建設業協会と関東地方整備局7事務所合同

の意見交換会 出席者名簿

日 時:平成26年1月15日(水) 16:00~17:00

場 所:栃木県建設産業会館 3階大会議室

所 属		役 職	氏 名	備 考
(一社)栃木県建設業協会		会 長	渡邊 勇雄	
		副会長	吉新 旦夫	
		副会長	玉木 茂	
		副会長	入江 和夫	
		副会長	坂本 邦男	
		専務理事	河野 廣實	
		常務理事	増子 四郎	
国土交通省 関東地方整備局	利根川上流河川 事務所	事務所長	須見 徹太郎	
		(技) 副所長	江口 公道	
	下館河川 事務所	事務所長	長野 拓朗	
		(技) 副所長	金子 勝	
	渡良瀬川河川 事務所	事務所長	堤 盛良	
		副所長(技)	藤井 淳夫	
	日光砂防事務所	事務所長	五十嵐 祥二	
	鬼怒川ダム統合管理 事務所	事務所長	宮崎 悟	
		(技) 副所長	佐藤 勝	
	宇都宮国道 事務所	事務所長	戸倉 健司	
		(技) 副所長	梶原 竹生	
		工事品質管理官	鹿島 秀昭	
		計画課長	木住野 誠	
		計画課 企画係長	白取 三樹男	
	宇都宮営繕事務所	事務所長	星 幸男	

(敬称略)